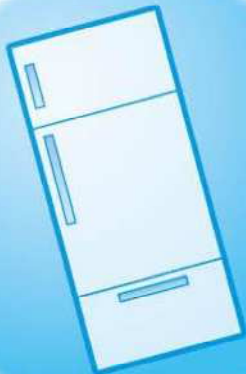


よつばの手紙

特集

男性の 家事・育児



市内企業レポート
行ってきました
さんかく図書室
人のわ



青梅市男女平等情報紙 No.24

男性の家事・育児

男女共同参画社会に向けて、今回は家庭における男性の家事・育児に焦点を当ててみました。日本の「男性の家事・育児」の当たり前と世界のスタンダードを比べると、違いが浮き彫りになります。

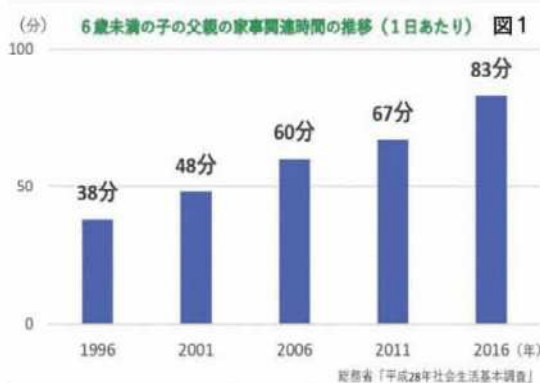


図1 Source: 平成 28 年社会生活基本調査 生活時間に結果
<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/pdf/youyaku2.pdf> (2021.3.2閲覧)
 出典: <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/library/resource/> (2021.3.2閲覧) グラフ1から編集委員会作成

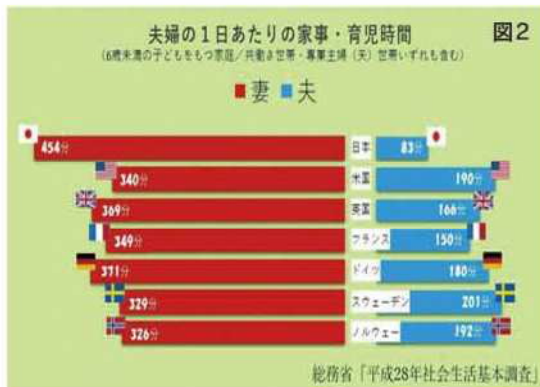


図2 (備考)
 総務省「平成28年社会生活基本調査」、Bureau of Labor Statistics of U.S. "American Time Use Survey" (2016) 及び Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。

図2
 Source: 平成 28 年社会生活基本調査 生活時間に關する結果
<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/pdf/youyaku2.pdf> (2021.3.2閲覧)
 出典: <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/library/resource/> (2021.3.2閲覧)

日本の「パパ家事」の変化

「男性が仕事・女性は家庭」という考え方もかなり薄れてきたように見えますが、実際はどうでしょうか。

6歳未満の子どもを持つ家庭の調査によると、1996年の日本の父親の家事・育児労働時間は一日平均38分でしたが、20年後の2016年には2倍以上伸びし83分(図1参照)となっています。

しかし父親と母親の家事関連時間の差をみると、父親が83分に対し、母親はその5倍以上の454

分(図2参照)家事・育児に携わっています。母親のこの数値は過去20年間ほぼ横ばいであり、変化はあまりみられません。

日本の父親の家事参加は以前と比べて増えてきているものの、父親と母親の家事関連時間の差はまだ大きく開いています。

先進国のなかで「家事をしない夫」ワースト1位!?

世界各国の夫婦はどうなのかと比べてみると(図2参照)、実は日本の夫の家事・育児時間は際立つて短いことがわかります。欧米諸

国の家事・育児時間の調査では、やはり妻に比重がかかっているものの、その差はおおよそ2倍程度にとどまります。

男女平等が進んでいるといわれるスウェーデン、ノルウェーではその差はおおよそ1.5倍とさらにその差が小さくなっています。スウェーデン、ノルウェーの夫は毎日3時間以上、家事・育児に時間をかけています。

日本では妻に家事・育児の負担が集中している現状が、データにもはっきりと表れています。

日本の男性が家事・育児をしない理由

世界の男性の1日当たりの平均労働時間を比較したデータ（働き方改革ラポ 「男性1日当たりの平均労働時間（休日も含む）2014年発表データ」 <https://workstyle.ricoh.co.jp/terms.htm> (2021.3.2閲覧)）を見てみると、日本男性の労働時間が世界で第1位となっています。

日本男性の1日当たり（休日も含む）の平均労働時間は40分に近く、対して欧米諸国は20分程度となっていて、日本男性の半分しか労働していないのです。

人はみな同じ24時間を与えられているなかで、日本男性が労働時間にこれだけ取られていては、「家事にかかる時間がない」という事実も大きいことが分かります。家事分担が無理なくできるような労働環境の改善も大きな鍵となっているようです。

残念なことに、日本男性の労働時間が世界第1位でも、労働生産

性を国際比較すると、先進国なかで最下位に位置しています。これは50年前の1970年からずっと続いていきます。

日本とドイツの決定的な違い

国民性で日本と似ているイメージのあるドイツですが、実はドイツには労働時間法により、長時間労働がありません。連邦休暇法で、「被用者は週6日労働の場合、最低年間24日（週5日労働の場合、年間20日）の休暇を受けることができる」と規定されています。

8時間以上は働かないことに

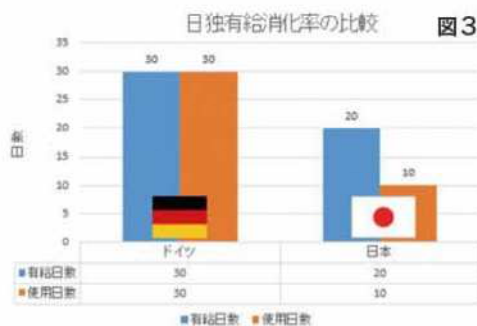


図3 Source: エクスペディア・ジャパン 世界19ヶ国 有給休暇・国際比較調査2018 [https://welope.expedia.co.jp/infographics/holiday-deprivation2018/\(2021.3.2閲覧\)](https://welope.expedia.co.jp/infographics/holiday-deprivation2018/(2021.3.2閲覧))
出典: <https://career-47/management.de/jp/blog/holiday/2347/> (2021.3.2閲覧)

加え、有給休暇日数も年間30日の企業が多く、かつほぼ消化率100%（図3参照）です。

さらに報酬継続支払法により

夫の休日の家事・育児時間別にみた第2子以降の出生割合

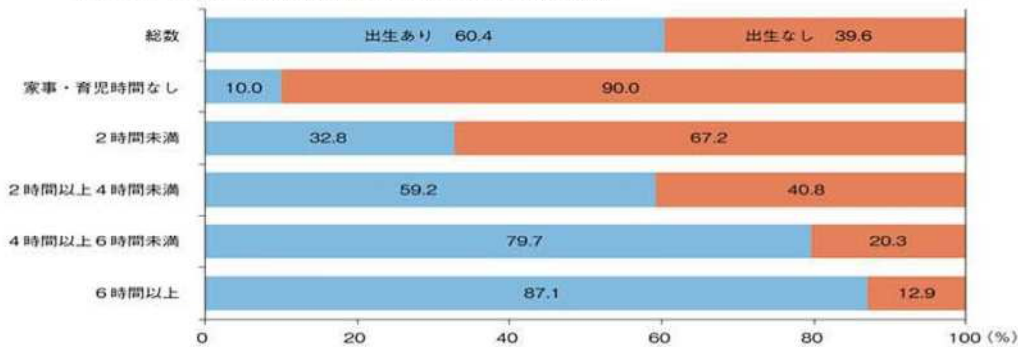


図4 Source: 内閣府「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)レポート2016」
出典: https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11903000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Shokugyoukateiryouritsuka/0000103126_1.pdf (2021.3.2閲覧)

6週間まで有給の病気休暇を取ることができるため、風邪をひくなど病気を理由に休む場合、有給休暇とは別の有給の病気休暇が付与されることも、日本では考えられない環境です。

こうしたドイツの働き方から学んでいくことが必要ではないでしょうか。

男性の家事が少子化を救う!?

6歳未満の子どもがいる家庭を調査すると、休日の男性の家事・育児時間が多い家庭ほど、第2子以降が生まれる確率が比例して増加していくことが分かります。

図4のデータは男性の休日の行動を調査したもので、「仕事だから」という言い訳は通じない数値であり、休日の男性の家事・育児への参加時間です。

その時間が長いほど、第2子以降の出生の割合が高いということが証明されています。

育休をとったパパ体験談(育児休暇一か月以上・青梅市職員)

青梅市役所の男性の育児休暇(育休)取得率は23.5%(2018(平成30)年度)と、全国地方公務員の平均5.6%に比べて高く、育休が取りやすい職場環境が整えられてきています。2019~2020年に育休を取得した4人の青梅市男性職員(30~33歳)にお話を聞きました。政府は男性の育休取得率「2025年に30%」との目標を掲げています。

(インタビュー:2021年1月)

Qどうして育休を取得しようと思ったのですか?

もともと育児に没頭したいと思っており、共働きの奥さんが安心して仕事復帰できるように子育てのスキルを身に付けたいと思ったからです。

Q育休取得についての職場の反応はいかがでしたか?

異動したばかりでなかなか言い出せなかったのですが、仕事は気にせず、家庭を優先させなさいと言ってくれました。

子どもとゆっくり過ごす時間を持ちたかったことや、二人目ということもあり少しでも奥さんの負担を軽減できればと思ったからです。

一人目の時は考えなかったが、一人目を育てたなかで大変さを実感し、奥さんだけに子育ての負担をかけたくないと思ったからです。

後ろめたさはありませんでしたが、上司も同僚も快く承してくださいました。

Q育休を取得して良かったことは何ですか?

普段なかなかできない細かな家事などができることができました。

夜泣きをしても次の日の仕事を考えなくていいので、そこまでストレスを感じることはなかったことです。

Q育休中にとくに大変だったことは何ですか?

夜中2~3時間おきに泣いて起こされていたので、生活リズムを子どもに合わせるが大変でした。

子どもと触れ合う時間が増え、日々の成長の様子を夫婦二人で共有できたことです。

離乳食が2回食になるタイミングということもあり、子ども二人のご飯の準備が大変でした。

Q育休中に感じたことやわかったことは何ですか?

日中子どもを昼寝させれば手が空くかと思いましたが、その間にやらなければならないことが多すぎて、甘く考えていたと反省しました。

Q最後に一言お願いします。

育休中に楽しいことや辛いことを共有することで夫婦で互いを尊重しあい、家族の絆がより強くなったと思います。

子ども一人と二人では体力も精神力も倍どころか10倍、100倍と削られました。

男が育休なんて……と最初は思っていましたが、家族との時間、子どもの成長に触れられる時間がこんなに幸せなことなのだ実感できました。

大変さよりも子どもの成長を近くで見ることができたので幸福感のほうが強く感じられました。

まだまだ育休をとりたくてもとれないという男性は多いと思います。当たり前になら育休がとれる社会になってほしいと思います。

市内企業 レポート

合同会社YOU.MEコンサルティングオフィス



ひらなか ゆみこ
平岡由美子代表

「自分の思い描く将来」について、アドバイス・サポート
合同会社 YOU.ME コンサルティングオフィスの平岡由美子代
表に自社で取り組まれている活動についてお話を伺いました。

◆ 事業内容 ◆

少子高齢社会において、生活費やさまざまなお金の付き合い方、それらに対応していくための習慣づくり、考え方をたくさんの人に知っていただきたいと思い、2016(平成28)年7月に設立、創業しました。新たな成長分野として、近年の経済環境の変化のなか、情報や知識を知らないことの怖さをクライアントに伝えています。また、伝えるだけでなく、自分自身の経験にもとづいて、有益な情報を得る方法、実践の仕方などのアドバイスやサポートもしています。コンサルティング以外に着付け教室も行っています。

◆ 会社での取り組み ◆

会社は自分1人で経営していますが、男性、女性を問わず、同業の仲間と連携、協力をしながら、クライアントに有益な情報や知識を伝えられるように取り組んでいます。会議や打合せでは、お互いの意見を尊重しあいながら、男性、女性のへだたりなく発言できるように、その場の雰囲気づくりや環境を整えるようにしています。その結果、少しずつ仲間が増えてきています。

◆ 新しいことへのチャレンジ ◆

今までは会場を使用してのリアルな形での説明会やセミナーを主体に行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた説明会やセミナーが立て続けに中止せざるをえない状況になっています。そこで、自分自身、あまり知識がなかったオンラインでの講座開催にチャレンジすることにしました。クライアントは若年齢層から高齢層の人まで幅広いため、オンラインでも状況



に応じてクライアントにわかりやすく、ニーズにあったアドバイスやサポートをできるように、日々、心掛けています。デジタル化が急激に進んでいるなかで、自分自身でも有益な情報や知識を得られるように努力しています。

◆ 今後について ◆

自分の知識をさらに高めたうえで、積極的に情報発信を行いながら、「人と人とのつながり」を大切にしながらネットワークを広げていきたいです。「人と人とのつながり」はお金で買えるものではなく、非常に価値の高い財産となります。ネットワークが広がれば必然的に仲間も増えて働きやすい職場環境ができていくと思っています。クライアントと仲間との信頼関係をより深く築いていながら、会社も自分自身も成長させていきたいと思っています。

合同会社YOU.MEコンサルティングオフィス(畑中3丁目)
設立 2016(平成28)年7月
総合コンサルティング業

相談窓口の案内

	相 談 先	内 容
女性 の 相 談	東京ウィメンズプラザ Tel.03-5467-2455 毎日 9:00~21:00 (年末年始は休み)	女性の総合相談(ドメスティック・バイオレンス、夫婦・親子の問題) ストーカー被害の相談は、直接警察署に連絡してください。
	東京都女性相談センター 多摩支所 Tel.042-522-4232 月~金曜日 9:00~16:00(土・日曜日、祝日、年末年始は休み)	
電話 の 相 談	青梅市役所 Tel.0428-22-1111 月~金曜日 9:00~17:00(土日祝日、年末年始は休み)	警察相談専用電話#9110
	内閣府男女共同参画局性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891(#はやくワンストップ)	内閣府男女共同参画局DV相談ナビ#8008(#はれれば)
女性 の 就 職	マザーズハローワーク立川 Tel.042-529-7465 月~金曜日 9:00~16:00(土・日曜日、祝日は休み) 混雑緩和のためご来所の際は事前予約をお願いしております。	専属の担当相談員による女性の就職活動全般の相談(キッズスペース等併設)
男性のための悩み相談 東京ウィメンズプラザ Tel.03-3400-5313 電話相談 月・水曜日 17:00~20:00(祝日、年末年始は休み) 夫婦や親子の問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントやDV、デートDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩みに男性相談専門の相談員が対応		

行ってきました



子ども食堂 どんぐりやま

子どもたちが安心して過ごせる場所を作りたい! 共通した思いを持つ今寺(いまでら)地区を中心とした仲間が集まって、村木助産院をお借りして、子ども食堂どんぐりやまをはじめました。

子ども食堂をはじめたきっかけ

ボランティア活動や子どもに関わる活動をしていた人が集まって2020年4月8日に特定非営利活動法人子どもステイションどんぐりやまを立ち上げました。

子どもたちに家庭的な味を提供したい、子どもたちが安心して過ごせる場所をつくりたいという共通した思いで、活動を開始しました。

名前の由来は、青梅市立第三小学校の校舎裏にどんぐり山というところがあってそこからとっています。



ハンバーグ弁当

どんな事業をしているのですか?

子どもステイションどんぐりやまは、子ども食堂を中心に、高齢者サロン、のびのび子ども広場、子育て相談会の4事業をしています。

子ども食堂は、月に1回第2水曜日の16時から19時まで子どもたちが集まりみんなで楽しく食事をしたり遊んだりする居場所です。



カレーの日のカレー

しかし、現在はコロナ禍なので、17時から申込者(あらかじめ電話予約)に対して弁当を安い価格で配布しています。家庭的な手作り弁当は子どもたちに人気です。忙しい大人の利用者からは1日でも料理を作る負担が減っています。

ほかにもイベントとして2020年11月には西東京農業協同組合提供の食材を使い「カレーの日」と題して市内の6団体(すべすまゆだま、武尊塾、どんぐりやま、KTホール、ぶらりカフェ、なかま亭、Kanpacafemio)の共通イベントとしてカレーを無料配布したり、2021年1月10日にはつきたての餅を近隣住民に無料配布しました。

新型コロナウイルス感染症対策と今後の活動

子ども食堂では、検温、消毒、健康調査、室内換気、三密を作らないなど徹底を図り運営しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は子どもたちが集まる場所を提供するのが困難ですが、今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じて子どもたちが遊べる場所や勉強できる居場所を提供していきたいと考えています。

子ども食堂とは、地域の子どもが一人でも行ける、無料または安価で栄養のある食事や団らんの場を提供する取り組みです。

市内の子ども食堂

名称	所在地	電話	実施日
武尊塾	青梅市東青梅3-22-4東京武尊会館	0428-20-0770	毎週月・木曜日
すべすまゆだま	青梅市友田町3-96-1	0428-23-6233	毎週金曜日
かへもくの会	青梅市勝沼3-78 KTホール	0428-24-8981	毎週火・木曜日
なかま亭	青梅市今寺4-6-25	0428-32-8825	毎週土曜日
どんぐりやま	青梅市今寺3-379-8	090-3049-4591	第2水曜日

青梅市公式ホームページより 実施内容については、各子ども食堂へお問い合わせください。

所在地

東京都青梅市今寺3丁目379番8
特定非営利活動法人
子どもステイションどんぐりやま

また、2021年4月から、青梅市立今井小学校、藤橋小学校区の児童を対象に、地域住民からの要望により、新しい子ども食堂を開始する予定です。ぜひ応援してください。

こづまの三氏

さんかく図書館



「フランスの子育てが、日本よりも10倍楽な理由」

横田増生(著)/洋泉社

フランスは減少傾向だった出生率を回復させた国です。どのような政策をとって回復させたのか、日本との違いを紹介しながら解説しています。日本の子育てには何かとお金がかかりますが、フランスは低所得の家庭でも大学に進学することが可能です。子育てしやすい制度を導入することで、国民の働き方への考え方を変えました。制度と社会の考え方のどちらを先に変えるかは難しい問題ですが、子育てしやすい国を作るためのヒントにしたい本です。



「新しいパパの働き方 仕事も家庭も！欲張りガイドブック」

NPO法人ファザーリングジャパン(著)/学研教育出版

仕事だけでなく、育児もがんばるためにはどうしたらいいか、その具体的な方法を教えてください。「会社に迷惑がかかるから定時に帰れない」「昇進、昇給に影響があるかもしれない」と育児に消極的な皆さん、上司や同僚への対応の仕方次第でその問題は解決するかもしれません。会社が変わる前に、まず自分を変えてみませんか。



「13歳からの自活術一生ついてまわる家事のキホンが身につく本」

大人の常識研究会(編著)/大和出版

自分の身の周りのことができる大人になるためには、男女を問わず、子どものころからの習慣が大切です。料理や洗濯のほか、身支度、時間の使い方など、独り立ちするために必要最低限の方法が丁寧に紹介されています。

「フランスの子育てが、日本よりも10倍楽な理由」「新しいパパの働き方 仕事も家庭も！欲張りガイドブック」「13歳からの自活術一生ついてまわる家事のキホンが身につく本」は青梅市中央図書館で所蔵しています。 電話番号 0428-22-6543



人のわ

株式会社 MOP TOP (モップトップ) 取締役 コーディネーター・広報

藤野 桃子 さん 年齢42歳 梅郷在住



藤野桃子さん

わたしは神奈川県出身ですが、結婚を機に夫の出身地、青梅の梅郷に移り住みました。

いまの仕事については、たのほ、自宅をリフォームしたときにお世話になった大工さんと仲よくなり、その人が独立すると聞いたとき、何かお手伝いができないかと相談、飲食関係の仕事を辞めて手伝い始めたのがきっかけでした。

毎日目にする家の中には、いろいろな名前が付いています。梁(はり)・軒(のき)・框(かまち)など、建築用語をよく使う職人大工と打ち合わせをすると、依頼主側は緊張して伝えたいことを話せないことがあります。職人大工側も同様です。

わたしの主な仕事は依頼主が望んでいるイメージや雰囲気を読み取り、そこから職人大工に伝えて建物や空間をデザインしていくことです。

喜んでもらえるの家を依頼主に見てもらうのが、



はとでもうれしいです。またその新築住宅やリフォーム住宅を依頼主にご協力願ひ、見学会をさせていただくことがあります。すると、そこで出会った依頼主同士で仲よくなり、その様子を見るとわたしもうれしくなります。また依頼主とプライベートでも一緒にキャンプや山登りをするくらい仲良くなることもあり、人とのつながりが広がっていききました。そのようなどころが今の仕事の楽しいところですよ。

季節のよい休日には、家の近くの川までイスとテーブル、軽食を持っていき、ゆったりします。青梅のよいところは、身近に自然があるの、気軽にリフレッシュができる場所です。



DIYの様子



わたしは中学生と小学生の子どもをもつ母です。これまで家事、育児、仕事とがんばっていましたが、

いまは子どももしっかりしてきたので、仕事が大変なときには、家族に頼るようにしています。

わたしが好きな仕事に専念できるのも家族の理解があり、応援してくれるからです。当たり前のことですが、家族に迷惑をかけてしまったときは謝り、感謝しているときはお礼をいうようにしています。身近で支えてくれる家族だからこそ、しっかりと言葉に出して伝えるように心がけています。

またわたしはDIY(Do It Yourself)が好きで、子どもと一緒に自宅をDIYしています。家がずっと工事中のようなものですが、ものづくりを通して家族と接するのも楽しいひとときです。

新型コロナウイルスの影響もあり、家で過ごすことが多くなりました。わたし自身改めてこの仕事の重要性を感じています。今こそ日々の暮らしと人とのつながりを大切にしながら生きていきたいと思っています。

ホームページ <https://moptop.jp>
電話番号 0428-74-9945

編集後記

- ひとりで会社を立ち上げ、自分自身の経験を広く伝えながら「人と人とのつながり」を大切にしていること、非常に価値の高い財産とされていることに感銘を受けました。(い)
- 新型コロナ感染症予防対策に万全を期し、チームワークで、今回も良いものを編集することができました。(か)
- 日本の男女平等の鍵をにぎるのは、意識の改革よりも職場環境に余裕があるかないかではと感じました。(に)
- 男女間において、家事・育児の分担や関わり方などの意識が変化してきていると感じました。日本の少子化を食い止めることができるよう、今後に期待したいと思います。(も)
- 家族だからこそしっかりと言葉に出して思いを伝える。とても大切だと思いました。(よ)